

都道府県名:愛知県 団体名:堀川1000人調査隊2010実行委員会

地域

名古屋市の中心部を南北に貫く堀川は、名古屋城築城と時を同じくして開削され、以来400年間にわたって、名古屋の人々の暮らしやまちづくりに密接に関わりを持ってきました。しかし、昭和初期から高度成長期にかけて、急速な都市化や産業発展による環境悪化、舟運の衰退などにより、かつての活気は失われ、人々の生活が堀川から離れることとなりました。近年、都心の水辺空間の見直しの機運が高まり、堀川の再生をめざし、市民と行政の協働による環境改善の取り組みが進められています。

経緯

平成19年、堀川浄化の社会実験として行われた木曾川からの導水にあわせ、市民と行政の協働による堀川浄化を目指すため、「堀川1000人調査隊2010」を結成しました。市民目線による調査を継続し、9年間で蓄積された調査データは累計4,000件以上にのぼります。また、調査隊報告会をこれまでに、18回(年2回)開催し、行政を交えた意見交換を実施しています。発足時は約2千人だった隊員数は、現在(平成28年5月)では5万人を超えています。

功績内容

- 行政の浄化施策を市民が調査・検証し、行政と共有、評価した結果を、浄化施策に反映させ、さらに、また市民が調査する官民協働による活動サイクルを確立しました。このような活動の成果が、下水処理場の新しいろ過施設の導入や浄化実験などの施策に反映されています。
- その他、木曾三川の上流域の住民と名古屋市民の上下交流、浄化美化・実験活動、清掃活動、啓発活動に継続的に取り組んでいます。

5万人を超える市民のネットワークに成長 調査報告数が累計4,000件を突破!!

■ 調査隊の活動

- 3つのカテゴリで活動
- ◆ 定点観測隊
堀川を市民の視点と感覚で調査
 - ◆ 自由研究隊
自由なテーマで堀川を研究
 - ◆ 堀川応援隊
堀川の浄化を応援

■ 隊員の登録状況

	発足時	現在
	平成19年4月22日	平成28年5月
定点観測隊	55隊 497人	97隊 1,000人
自由研究隊	22隊 234人	40隊 650人
応援隊	88隊 1,531人	2,576隊 51,656人
計	165隊 2,262人	2,713隊 53,306人

■ 調査地点



名古屋港 流域面積: 51.9km²
延長: 16.2km(感潮区間13.6km)

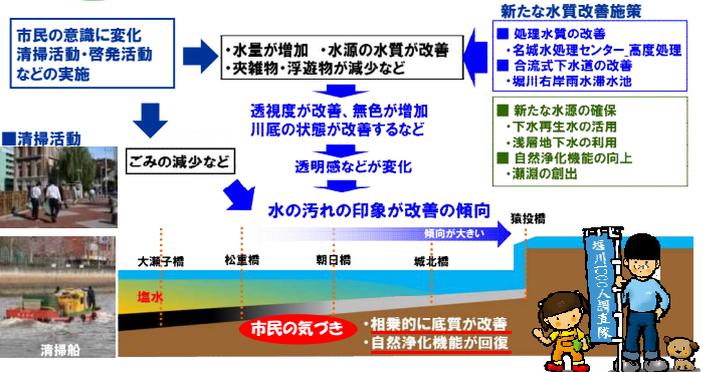
■ 調査報告数



市民生活のレベルで堀川の改善を確認!! 新たな施策の実施による改善メカニズムの仮説!!

定点観測隊がたくさん観測(色々な場所、潮の状態、時間帯)をすることで、新たな水質改善施策による効果が見えてきました。調査隊でその改善メカニズムの仮説を立て、その現象を確認するために調査を継続しています

市民の仮説 新たな施策の実施による水の改善メカニズム!!



市民意識の向上 上下流交流と環境学習等の実施・継続!!

木曾三川がつなぐ山とまちインターネットフォーラム

環境学習の実施 堀川を愛する心を育む!!

